

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 79

令和7年(2025)
8月7日

おもな
内容

議案審議	2~7
特集・(株)温泉町夢公社	6~7
常任委員会	8~9
議会ってQ&A	10
一般質問	11~17
議会報告会レポート	18~19
みんなの広場	20

トピックス 大庭認定こども園整備に修正案提出。修正案否決、原案可決！
議会報告会レポート！



かわいい麒麟獅子舞

(令和7年7月15日 明星認定こども園 みこし獅子舞パレード)

大庭認定こども園 仮設園舎設計に関する予算

委員会否決から一転、**原案可決！**幼児教育・保育に関する請願 **採択！**

6月定例会のあらまし

第137回定例会を6月4日から6月18日までの15日間で開催しました。最初の3日間是一般質問を行いました。町長提出案件は報告5件、条例改正案6件、事件案5件、補正予算案6件、人事案2件、専決処分1件の計25件、また請願2件を慎重審議しました。一般会計補正予算に対しては、民生教育常任委員会で否決し、減額修正案1件が議員より提出されました。修正案は1票差で否決し、原案を可決。当局提出議案はすべて可決しました。また、請願2件はいずれも採択しました。

一般会計補正予算(第1号)

説明 人事異動等による人件費の補正、認定こども園施設整備事業等により、歳入歳出ともに842万円増額するもの。

大庭認定こども園

(補正予算 第1号関連)

概要

大庭園の園舎の耐震性不足のために、令和8年度に同園を休園して耐震補強、大規模改修工事を行う。休園に伴い、浜坂認定こども園の入園が増加することが想定される。不足す

る保育室を補うための仮設園舎を同園内に本年度整備する設計委託に300万円を要す。

Q 浜坂地域のこども園の将来ビジョンはどうなっているか。

A 浜坂園については未定であり、教育委員会としては早く方向付けしたいと思っています。

Q 仮設園舎設計業務予算と大規模改修案とは一体のものか。

A そのとおりである。9月定例会で工事費予算案を提出し、来年度大規模改修

に向かいたい。

Q 教育委員会が大庭園の園児や保護者の立場に立つのは理解できるが、一般行政としてはどうか。バランスをとる必要もある。やり方はいろいろあるのではないか。

A 少ない人数だからこそ、より良い環境を与える必要がある。

Q 大きな転換期が来ている。将来を見据えて再編して魅力あるものを作るべきと考えるがどうか。

A 再編するのにも何年も

かかる。そのためにも今回の計画を進めさせてほしい。

修正動議

岡坂遼太議員他3名から認定こども園施設整備事業の予算を減額する修正動議が出された。

発議理由

岡坂 遼太 議員

本予算案は、保護者から多くの懸念が寄せられており、整備の方向性も急激な少子化に対応していない点から、住民の理解を十分に得られていない。将来の再編を見据えるなら、町長から「明確な道筋と財政計画の提示」が必要であり、このままでは大きな負担を将来世代に与えるものであると考え、減額修正を提案する。



浜坂園内への仮設園舎設置予定位置図

「こども園関連補正情報」

これまでの経過

・平成31年3月 耐震診断の結果、耐震力不足と判定

・令和5年3月 浜坂・大庭園両園の改修設計予算案、否決

・令和6年6月 大庭園の耐震補強・改修等設計業務委託費予算、可決。

・令和7年3月 仮園舎の設計外部委託の必要性、工事費の高騰等の説明。繰越明許費の減額修正※詳しい経過は前号(78号)参照

今後の流れ

今回、原案が可決したため、仮設園舎の設計を委託。その後、令和7年9月に補正予算案(仮設園舎工事費)が議会に提出され採決予定。可決されれば着工、否決(減額修正)されれば再検討。

今回と前回(令和7年4月まで)提案との差異

【金額(工事費及び設計費の見込額)】

今回 約4.2億円
前回 約5億円

【園舎完成時期】

今回 令和9年3月
前回 令和8年8月
(令和6年6月の提案では、令和8年5月完成予定でした)

【認定こども園としての利用期間】

今回 認定こども園として6年程度利用し、その後教育支援センターとしての利用も考えられる(教育長提案)
前回 10年程度
※いずれにしても建物は20年の長寿命化

【仮設園舎】

今回 浜坂園敷地内に建設し、浜坂園と一緒に保育。一部希望園児は他園へ通園。大庭園は一時休園
前回 山村広場駐車場に建設し保育

補正予算修正動議に対する質疑(回答は発議者)

Q 昨年6月議会では、提案者は事業実施が不可能になるのを避けて賛成したようだが、今回の修正案だと事業実施が不可能になるのではないか。

A 今回の内容での事業実施は難しいと判断した。本修正で、事業の方向転換を實現させたい。

Q 大庭園は一刻も早い耐震補強が必要である。提案者自身、こども園の保護者であるが、本修正でその事が先延ばしになる事をどう考えているか。

A 保護者からも今回の整備は止めて欲しいとの声を多くもっている。最初から2園を一緒にしてしまえば、こうはならなかったとの声を多くもっている。

Q 保護者も心配している。子どもを命をどう考えているのか。

A 6月17日に提出された大庭園に関する要望書は保護者の総意ではない。要望書の提出の園長への連絡

町長等への提出は某議員が中心的な立場で関わっており、役員会での協議も行っていないので、保護者の気持ちを汲んでいない。また、全国の1割のこども園が耐震不足であったと言われ、他の自治体では即座に休園か耐震補強を行っている。浜坂園のやり取りに集中し、5年以上遅らせたのは町の責任である。今となっては短期的視野ではなく、方向転換をすべきと考える。

Q 5年放置したのは議会側、議員の責任もあるのではないか。

A 議会、議員の責任もあると思っている。議会側から増額補正を行い、修正ができたかもしれないが、望ましい形ではないと思っている。

討論

原案賛成討論

(修正案に反対)
西村 龍平 議員

大庭園の耐震補強は早急で不可欠な事業である。た

だ浜坂園との両園存続は反対で、統合園への推進の考えに変化はない。賛成の理由は、教育長の答弁に6年先の統合、その際には他の目的で大庭園を活用するとの言葉が出たことと、今回はまだ浜坂園への設計予算で、次の改修補正予算の際、耐震補強のみか大規模改修かの議決ができる。

各観点における賛否の主な意見

	原案賛成意見	原案反対意見
安全性	即座に対応が必要	即座に対応が必要であった
財政・コスト	・金額は気にすべきでない ・最低限のコストは必要	将来を見込んだ計画が必要
保護者の声	不安・心配に思っている	様々である

本修正案を7対8で否決し、一般会計補正予算(第1号)の原案を採決し、賛成多数で可決。

有害鳥獣（補正予算第1号
関係）

Q 野生動物被害対策推進協議会へのワイヤーメッシュ柵の補助金は国庫補助が基本だが、減額された分を町単費で補助するのは公平性の面からいかなるものか。

A 国の交付金事業だが被害の現状を鑑みると実施する必要がある。

Q 要望があつたら全部補助するのか。

A 補助要件に適合するものは事業をすすめている。

行政組織条例の一部改正
（おんせん天国室を、企画課から商工観光課へ移管）

Q 3月議会でおんせん天国室に参事を置いた。室参事は例規にないが何をするのか。

A 昨年度末に急に退職者が出た中で室参事を置いて事業を推進することにした。今回の条例改正で、おんせん天国室の所管を変えて室参事を無くすこととした。

Q 例外規定を作るべきではないと考えるがどうか。

A 変えないままにいる方が、デメリットが大きい。

Q もともと企画課内に置いた理由は何か。

A 温泉活用での全庁的な取組や企画立案をするためである。現状では、商工観光課に置いて連携できるので事業に支障はない。

Q 室長が商工観光課長になつたからと言って、安易に組織を動かすべきではない。仕事は人に付くものではないと思うがどうか。また、給与はどうなるか。

A 急な退職者が3名あり、4月に人が配置できなかったため、やむを得ず兼務の人事を行った。企画課としてのおんせん天国室の業務も役割を終え、商工観光課で業務を行うべきと判断した。また、室長を兼務しても、給与は同額である。

町道釜屋海岸線釜屋橋迂回路整備工事

説明 塩害により劣化が進行している釜屋橋を撤去し、埋め立てを行い、町道を設置する。11者により入札が行われ3億2213万8300円で落札された。

Q 埋め立てされた緑地部分の利用の方向性は決まっているか。

A 今のところ集落の緑地としての利用程度で考えている。海拔10mだが有事の際の避難場所や皆さんが集う場所としても活用できると思っている。



埋め立て整備される釜屋橋エリアの完成予定図

育児休業等に関する条例
等の一部改正

説明 人事院が行った「仕事と生活の両立支援の拡充」に伴い、育児時間の取得パターンの多様化や支援制度利用に関する職員の意向を確認し、対応するための改正を行う。

Q 意向確認等を必要とする国の通知は以前からあつたが、これまで行っていないのか。

A これまでの対応は承知していない。今後は対応する。

動産の買入れ（町民バス兼
用スクールバス2台）

Q 2台とも四輪駆動車にすべきだったが、なぜ1台は二輪駆動車にしたのか。

A 当該車種の四輪駆動車はガソリン車のみであり、年末年始等のガソリンスタンドが休日の際に業務委託業者で給油できるのが軽油のため、対応できる二輪駆動車の購入が必要だった。

新温泉町の幼児教育・保育に関する請願

概要

こども園は町の未来を託す子どもたちが育つ場であり、子育て支援の中核を担うところである。同時に若い子育て世代の流出を防ぎ、町外からの転入を増やす可能性を持った極めて重要な施設である。浜坂認定こども園の再整備の検討が始まって以来、浜坂、大庭認定こども園の設置場所の可否、現状のままの存続・整備の可否の議論に終始し、本町に求められるこども園の機能、あり方を論じられないまま、未だ実現に至っていない。その間、新温泉町の人口減ならびに少子高齢化はより深刻さを増し、ゆめっ子、明星認定こども園を含めた、町全域に及ぶこども園のあり方、体制を見直すべき状況になってきた。こども園体制の見直しと将来への見通しを持たずして、無計画に現施設を存続・整備しては、後世に負担を残すところで

あり、将来を見据えた再編計画に基づく計画的な整備が必要である。

討論

反対 中井 次郎 議員

必要な機能を有すること
も園の一刻も早い実現は
同感。「浜坂、大庭両認定
こども園の現状のままの存
続・整備することの可否に
終始し」と請願人は述べて
いるが、「浜坂認定こども
園整備検討委員会」は、安
全対策、ゼロ歳児保育の必
要性や高齢者との交流のス
ペースも議論をしている。

反対 浜田 直子 議員

保育環境について大変よ
く研究しており参考にな
る点も多く賛同できる部分
も多い。しかし、実際の子
育て環境の現状をふまえる
と、統廃合についての保護
者、地域の声、保育者の想
いが、残念ながら不明であ
るため。

賛成 討論

米田 雅代 議員

住民自らが、新温泉町の
幼児教育保育を考えようと
発足した会である。令和5
年10月に始動。自ら作成し
た資料を基に常に新たなメ
ンバーを募り、論議を重ね
た。仕上げに多くの町民と
共にシンポジウムを開催し
た。要した時間は100時
間以上。関係した町民の数
はのべ500人。議会は言
論の府。議場で住民自らの
意見を述べてもらいたいぐ
らいた。

賛成多数で採択

子どものゆたかな学びと 育ちを保障するための、 2026年度政府予算に 係る意見書採択の請願

次の事項が実現されるよ
う、国の関係機関への意見
書提出を請願する。教育の
機会均等と水準の維持向上
を図るため、地方財政を確
保した上で、義務教育費国
庫負担制度の負担割合を二
分の一に還元すること。学
校の働き方改革実現のた

め、加配教員の増員など定
数改善を推進すること。自
治体で国の標準を下回る学
級編成基準の弾力的運用の
実施ができるよう加配の削
減は行わないこと。小中学
校の更なる少人数教育につ
いての検討、併せて高等学
校での35人学級を実施す
ること。教職員の安定的な採
用と実効性のある働き方改
革ができるような必要な財
政措置を講じること。子ども
の豊かな学びと育ちを保障
するための学習指導要領の
内容精選等を行うこと。

人事案

●西浜財産区管理委員の選定

平田 清己 氏

全員賛成で可決

●人権擁護委員の推薦に ついての意見

畑 達彦 氏

全員賛成で可決

令和7年度 6月補正予算（一般会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名	当初予算	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	14,195,000	8,425	14,203,425
公営企業会計 （支出）	浜 坂 温 泉 配 湯 事 業	12	108,651
	水 道 事 業	148	829,928
	下 水 道 事 業	75	1,497,815
	公 立 浜 坂 病 院 事 業	14,092	1,829,764

特集 (株) 温泉町夢公社

本町唯一の第三セクターであり、リフレッシュ館や健康公園の管理等を行う株式会社温泉町夢公社の特集を行います。

リフレッシュ館のプール施設の老朽化により、令和7年3月定例会で約10億円の改築事業が決まりました。第三セクターは、副町長が専務を務めるとともに、議会への財務諸表の報告が義務付けられています。昨年度の財務諸表の報告は今定例会で行われました。本特集では、夢公社と本町の関わりをお伝えします。

会社概要

設立 昭和63年3月1日
事業目的 新温泉町における、公共団体が所管する施設の管理運営受託業務と、観光物産品の開発ならびに販売等の事業を営み、地域の活性化を図る。
資本金 2000万円
当年度末株主数 135者
(発行済株式数 400株)

業務の状況

指定管理施設及び業務

- ①リフレッシュ館 ②健康公園 ③草太園地 ④生涯学習のむら(ログハウスカナダ) ⑤夢千代館(①～⑤の業務は、受付案内、利用促進、施設管理が主) ⑥駐車場(運営業務)

直営事業

- ①リフレッシュ館(喫茶、物品・特産品販売) ②森林総合利用促進施設(レストラン楓) ③野外活動施設(物品販売、中山食堂) ④メイプルセンター(物品販売) ⑤夢千代館売店(物品販売)



夢公社の管理施設一覧



ログハウスカナダ

リフレッシュ館



今定例会での報告内容

株式会社温泉町夢公社

事業報告と財務諸表の報告

概要

総収入額は1億9020万円(前期比3.2%増)、うち指定管理料合計額が6962万円。当期純利益は、▲112万円(赤字決算となった。利益剰余金は7168万円である)。

また、リフレッシュ館の入館者は5.5万人(前期比31.9%減)と減少したが、売上は2180万円(前期比10.0%増)と増加した。社員の状況(当年度末)は、27人(再雇用3人、臨時2人、パート8人含む)。

利用者数はリフレッシュ館、駐車場で大幅減であった一方で健康公園が約30%増と健闘した。売上面ではレストランや物販が微増傾向だが、全体として利用者数の落ち込みと物価高、固定費の重さが収益を圧迫している。

今定例会における質疑

株式

Q 町は51%の株主であり議決権の行使ができるが、総会に町長はどういう立場で出席したのか。

A 町長は来賓として出席している。町側としては欠席であり、議決権は委任している。発行済400株のうち、町は204株（51%）を保有している。

運営状況

Q 5期連続赤字で今回の決算では112万円の赤字だ。内部留保は潤沢、社員

の賞与は減額すべきではないがどうしたか。

A 赤字額は減っている。賞与の減額はしていない。

Q 窓口対応に問題提起がなされている。従業員教育ができていないか。

A サービス業であるので、夢公社にしっかり伝えていく。

Q 年間券を廃止したが、どうするのか。

A 条例の枠内で指定管理者が検討している。

プール改築計画

Q 町民プールは町全体の問題。どう考えているか。

A プールは町条例に基づいて設置されていると夢公社に伝えている。

Q ターゲットは町外者が町民か。

A 町外者のみを増やすわけではない。町外者で儲けて、町民に還元する方向である。

Q 改築後プールの収容人員の把握はできているのか。

A 検討できていない。

その他

Q 露天風呂貸切の商品は売れているのか。

A まだ販売実績はないが、今年度のふるさと納税のメニューに組み入れるよう準備をしている。

Q 合併20周年というのに会社名に温泉町が付いているが、おかしくないか。

A 昨年に町長より指摘をした。役員会で前向きに検討している。



夢千代館



すこやかドーム

令和7年 第137回新温泉町議会定例会の議決結果

今定例会では28議案中25議案を出席者全員賛成で可決しました。賛否が分かれた議案等は以下の表のとおりです。

議 案 名	議 員 名																賛 成	反 対	結 果
	1 中 村 茂	2 西 村 龍 平	3 澤 田 俊 之	4 米 田 雅 代	5 岡 坂 遼 太	6 森 田 善 幸	7 浜 田 直 子	8 河 越 忠 志	9 竹 内 敬 一 郎	10 重 本 静 男	11 岩 本 修 作	12 宮 本 泰 男	13 中 井 勝	14 中 井 次 郎	15 小 林 俊 之	16 池 田 宜 広			
令和7年度新温泉町一般会計補正予算（第1号）について（修正案）	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	-	7	8	否決
令和7年度新温泉町一般会計補正予算（第1号）について（原案）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	-	13	2	可決
新温泉町の幼児教育・保育に関する請願	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	-	12	3	採択

「○」は賛成を、「×」は反対を示し、「欠」は欠席、「退」は退席を示しています。議長、除斥該当者は採決に加わりませんので、「-」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合は、議長が決します。

議案一覧は町のホームページに掲載しております。



総務産建常任委員会

牧場公園課

昨大阪・関西万博ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025へ5月29日に出席した。

Q 新温泉町に来ていたどのような催しをしたか。

A 来場者に、但馬牧場公園、世界農業遺産、新温泉町のパンフレット等を配布した。



ひょうごフィールドパビリオンフェスティバルでPRする但馬牛博物館副館長

農林水産課

ツキノワグマの出没状況と対応

報告 本年度は4月5月の2か月間で目撃7件、錯誤捕獲5件で昨年同様多い。錯誤捕獲の防止のため、草食動物が好む誘引用の餌（ハイキューブ）を捕獲班員の希望者に配布。学校の登下校時の事故防止のため、各学校にクマよけスプレーを配布予定。

Q 同じクマが何度も錯誤捕獲されたものは殺処分できないか。

A 事前に届け出した箱わなにかかったものについては、県の許可があれば殺処分ができる（条件あり）。くりり畏にかかったものは放獣しなければならない。

商工観光課

フジッコ浜坂工場閉鎖情報への対応

報告 一般質問の答弁で専用の相談窓口の設置について検討したが、その

後の常任委員会で次の①、⑤の理由で相談窓口を設置しないこととした。

① 会社の中で意向調査を行い、再就職先を探している。

② 商工会が影響調査を行っている。

③ 町が窓口設置をしてもハローワークの情報提供しかできない。

④ 会社の動きと異なる動きをすることは良くないと判断した。

⑤ 公平性の問題。よって現在は見守っていく時期と判断した。

Q なぜ、情報を事前に把握できなかったか。本社に行かないと情報は入らない。

A 今後このようなことにならないように勉強しながら把握する。

Q なぜ相談室を置かないのか。町行政は町民に対して安心を与える役割を持っている。危機感をもつべき。

A 数日間検討した結果、窓口を設置しないこととした。

企画課

報告 新温泉町制20周年記念事業公式ロゴマークの決定。応募総数95点の中から記念事業推進会議委員による投票で最優秀作品1点を決定した。町の記念事業や広報物だけでなく、住民・団体・事業者幅広く活用してもらい20周年の機運を盛り上げていく。

Q 団体等が行う事業に、20周年の補助金は付くか。

A 補助はないが、広報紙などで紹介する。

Cafe 98℃の地域おこし協力隊

説明 隊員が早期退任したため、新たに1名採用予定。

Q いつまで経っても協力隊頼みの運営だ。アルバイトを入れて店舗運営は成り立つのか。

A 現在、協力隊の活動外としてカフェが独自に夜営業も行っている。最終的に直接雇用できるように進めている。

総務課

定員適正化計画

Q 人口減少が進んでいくのに職員数は現状維持。DXで来庁しなくてもできる仕組みを作り減らすべき。

A 住民サービスを維持するためには、ある一定のところで職員数は減らせない。

財政運営に対する基本方針

Q 経常収支比率の目標を85%に設定して職員数を減らすべきではないか。

A 減らせるところは減らし、力を入れるべきところは採用して、採用計画を立てていく。

Q 浜坂病院や本庁舎の改築または大規模改修が財政計画に入っていないが。

A 財政計画は今後10年までのもので、具体的方向性が決まった時点で事業を計画にのせる。

Q 今から基金に積み立てるべきではないか。

A 事務方レベルでは認識している。考えながら計画を立てている。

民生教育常任委員会

福祉課

Q ユートピア浜坂のスタッフのシフトはどうしているのか。

A 会計年度任用職員で対応している。

Q 営業時間内に女性スタッフがいらない時間帯があるようだが、どうしているのか。

A 緊急時は課長に連絡することになっている。女性スタッフの不足については、経験者に再度依頼したり、シルバー人材センターに業務をお願いするなど、努力している。

生涯教育課

Q 化石として世界最大の「チヨウ化石」が見つかった。すごいニュースだ。このことを最大限に活用してほしい。

A 展示や広報等、工夫する。

公立浜坂病院・介護老人保健施設さざり

Q 消防設備の更新については地元専門業者で実施できると思うがどうか。

A 事業実施に向けて、地元専門業者による更新を検討する。

病院・老健まつり

Q 次年度は開催しないのか。

A 予算確保の問題や準備等に係る職員負担も大きい。ため、今年度の開催状況やアンケート結果を踏まえ検討したい。

Q 当日の診療体制はどうするのか。

A 通常どおり受け入れを行う。外来部分はイベント会場に含まれていない。



演奏やダンス、健康講座、医療相談などで賑わった病院・老健まつり

町民安全課

河川の環境（久斗川）

Q 5月に久斗川高末付近でコンクリートの流出があり、生物に影響があったが、どのように対応したのか。

A 5月11日、現場を確認し、即座に下流地区に連絡。水質検査を県が実施し、その後も県と連絡を密にして対応した。

河川の環境（岸田川）

Q 岸田川への油の流出があったと聞いたが、対応はどうしたのか。

A 流出元を把握し、岸田川清富橋付近で流出を食い止めた。原因は配管の破損であり、直ぐに対応した。オイルマット、オイルフェンスで油流出を防いだ。農作物に影響はなかった。

Q 掛かった費用については企業に求めるのか。

A 原則的には企業負担となっているので、企業に負担してもらった。

資源ごみの収集方法の変更

説明 現在、一部資源ごみをリサイクルセンター（久谷）で売却や引き渡し処理をしているが、収支悪化が見込まれるため、今後はクリーンパーク北北（豊岡市竹野）への搬入を検討し、リサイクルセンターの閉鎖も検討したい。

Q クリーンパークへ全てのごみを搬入することにより、負担金や委託料が増えるため、経費を比較する必要がある。資料の提供を求める。

A 提出する。

Q 現在リサイクルセンターで発生している利益は、クリーンパーク受け入れでどうなるのか。その分、負担金は減るのか。

A 今後確認する。

Q 令和5年度にリサイクルセンターの機械を買い替えている。修繕で対応できなかったのか。

A 修繕しながら長年使用してきた。更新せざるを得なかった。

家庭への影響

Q 家庭の負担についてはどうか。燃やすごみ袋以外にもごみ袋が必要となる。また、ごみ袋いっぱい入るとビン類は重たいし、割れ物は危険だ。収集方法が変わり、住民はとまどうのではないか。

A 搬入先の変更については意見聴取を6月末まで行う。その後、聴取した意見やクリーンパークの現在の受入状況などを参考に搬入方法を検討して決めたい。

Q ごみ収集の仕方が変更になるのであれば、簡素化を図るのも一つの方法ではないか。

A 検討していく。

Q 紙パック等クリーンパークが収集しないものはどうするのか。町内に点在している回収ボックスに集めるのか。交通手段を持たない住民に対してはどうか。

A 各自回収ボックスに入れるか、集団回収事業の充実を図り、集団回収の利用促進を図る。

議会って Q&A

●議会タブレット導入

Q 議会でタブレット端末が導入されたのはなぜですか？

A 目的は、SDGsの精神に則り、大量の印刷物の削減、会議準備の効率化、情報共有の迅速化などです。全国の多くの議会でも同様の取組が進んでおり、本町もより効果的に時代に

合った議会運営を目指しています。

Q いつ導入しましたか？

A 令和6年12月から本町議会では、議員にタブレット端末を配布し、一部資料をデジタル化しました。そして、令和7年6月にデジタル化完全移行しました。

Q 実際に導入されて何が変わったのですか？

A 大量の紙資料が不要になり、端末一つで

議案資料や過去の記録をすぐに検索・表示できるようになりました。

資料の差し替えや修正も即座に反映でき、慣れれば会議中の確認や議論

もスムーズに進行できます。タブレット上でのメモ

や管理も簡単で、議員同士の情報共



写真右が3月定例会分の資料。今定例会からはタブレットだけで進めています

有がしやすくなりました。

Q 議会運営への影響はありますか？

A 事務局職員による資料印刷や配布の負担が大きく軽減され、作業時間やコストも削減されました。議員や役場管理職も資料の持ち運びが不要になり、必要な情報を瞬時に確認できます。委員会や本会議中에서도柔軟に対応できるようになり、全体として議会運営のスピードと正確さが向上しています。

Q 町民にとってのメリットは何ですか？

A 町民には直接的な変化は見えにくいかもしれませんが、議会の効率化は議論の質の向上につながります。今後はタブレットを活用した報告会や説明資料の共有なども検討可能です。住民にとってもわかりやすく、参加しやすい議会を実現していきたいです。

●意見募集

Q 5月中旬（5月30日募集締切）に、「新温泉町議会基本条例」と「新温泉町議会議員政治倫理条例」に対する意見募集がありました。意見募集とは、何でしょうか。

A 新温泉町議会あり方等調査特別委員会、それぞれの条例の案を作りましたので、この案に対する、町民の皆様の捉え方、問題点などをお聞きするためのものです。

Q 「パブリックコメント」と「意見募集」はどのように違うのですか。

A 「パブリックコメント制度」は、「意見公募手続制度」と言い換えられているように、目的は、行政機関が計画等を定めようとする際に、事前に、広く一般町民から意見を募り、その意見を考慮することにより、行政運営の公平性の確保と透明性の向上を図ることを目的にされている制度

です。ほとんど同じ意味で使われています。

Q なぜ、今回は、意見募集なのでしょうか。

A この条例は、新温泉町町議会議員のためのものであり、町民の皆様には、直接関係のないものだからです。しかしながら、今、議会は開かれた議会を目指しており、町民の皆様の視点を大事にしたいということで意見募集を行いました。

Q 条例は、町が作るものではないのですか。

A 議員は条例を提案できます。

Q この条例の制定手続きはどのようになっているのですか。

A この条例は、議員発議と言って、議員が、このような条例を作りたいと議会に提案し、作るものです。町当局主導で作成するものではありません。

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会だよりでは、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人二分の一ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
12	竹内 敬一郎 議員 ①高齢者の支援【掲載】 ②不妊治療の補助制度【掲載】 ③RSウイルス感染症【掲載】	15	重本 静男 議員 ①農林水産業の振興【掲載】 ②行財政改革の推進【掲載】 ③子ども・子育て支援施策【掲載】
12	河越 忠志 議員 ①リフレッシュパークゆむらの在り方 ②町内の地図（公図）の誤りへの対応【掲載】 ③地域振興施策の在り方	15	宮本 泰男 議員 ①沿岸漁業の振興【掲載】 ②浜坂認定こども園早期整備【掲載】 ③フジッコ浜坂工場の閉鎖【掲載】
13	西村 龍平 議員 ①西村町政におけるこども教育政策の方向性の確認【掲載】 ②町外の外資を獲得するための具体的アクションプランの確認 ③公共交通（町民バス等）に関するビジョンの確認	16	米田 雅代 議員 ①新温泉町の未来の姿（現状と課題）【掲載】 ②新温泉町の未来の姿（未来の姿）【掲載】
13	中井 次郎 議員 ①雇用とくらし ②風力発電の動向【掲載】 ③子育て新温泉PR事業のケーブルテレビの利用	16	澤田 俊之 議員 ①フジッコ浜坂工場の閉鎖問題【掲載】 ②新温泉町における認定こども園の将来像【掲載】 ③行政の公平性【掲載】
14	中村 茂 議員 ①新しいコミュニティづくり【掲載】 ②元気なおんせん天国づくりに一歩前進【掲載】	17	浜田 直子 議員 ①住宅の新規の上下水道設置と老朽化に伴う漏水等の対応【掲載】 ②ふるさと教育【掲載】 ③認定こども園の整備と環境【掲載】 ④町職員の働き甲斐【掲載】
14	森田 善幸 議員 ①少子高齢化人口減少問題への対策 ②豊かな自然環境を守るために【掲載】	17	岡坂 遼太 議員 ①都市機能集積地区と都市計画【掲載】 ②第3次総合計画策定と町長のビジョン【掲載】

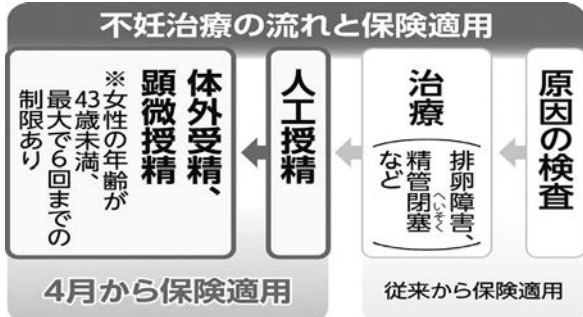
※質問は通告受け付け順に掲載しています。
【掲載】は記事にした質問事項です。

不妊治療費 43歳以上の女性にも助成を考えてはどうか

町長 他の自治体の事例を研究し検討する



竹内 敬一郎 議員



2022年4月から、生殖補助医療を含む不妊治療が保険適用となった。

不妊治療の補助制度
問 不妊治療費助成事業の対象者は、治療開始日の女性の年齢が43歳未満である夫婦となっている。43歳過ぎても子どもを希望している夫婦のために、年齢制限の撤廃を検討してはどうか。

町長 少子化対策の一環として、年齢制限をとりやめてほしいという要望を聞いている。既に取り組む他市町の状態を研究して、前向きに取り組んでいく。

高齢者の支援
問 孤独、孤立しがちな一人暮らしの高齢者を支える体制の拡充が必要ではないか。
町長 温泉地域は、在宅介護支援センター（特養ゆむら）に委託。浜坂地域は、本年度から社会福祉協議会に委託し、安否確認を含めて見守りを行っている。
問 身寄りのない高齢者が、もしものときに備え、身元保証や死亡後の葬儀の手配など、支援サービスの需要が高まっている。自治体でも終活支援を始めている所もある。本町も検討してはどうか。
町長 検討したい。
RSウイルス感染症
問 RSウイルス感染症は高齢者が感染すると、肺炎など重症化するリスクが高いとされている。肺炎予防の一環として、疾患の周知と感染予防の注意喚起を住民に行ってはどうか。
町長 検討したい。

浜坂駅前地図混乱を解消するには

町長 元町長から非常に困難だと聞いている



河越 忠志 議員



駅前商店街が見捨てた浜坂駅前広場整備であってはならない

浜坂駅前振興のためには、地図混乱の解消が必須

問 浜坂駅前活性化検討業務が、地図混乱を理由として、予算執行されなかった経緯がある。地図混乱は、地域振興に大きな支障があると考えるが、町長の認識はどうか。
町長 駅前の地図混乱

の解消は非常に困難だと元町長から聞いている。地域振興への影響は、分からない。
問 実際に影響があるのに、影響は分からない、難しいから何もしないということか。
町長 元町長から境界を決めて登記をするということは極めて困難だと聞いている。
問 情報を得ずに難しいということだけで済ますことは問題だ。地図は、地籍調査か、区画整理事業で整理することができ。区画整理は具体的な事業計画がなければ対象にならない。地籍調査については、地図混乱の解消が事業の目的であっても問題ない。しかも町の費用負担は5%で済む。町に責任がある湯地区内の地図訂正についても解決しようというのではないのなぜか。
町長 この場で答弁することは控えたい。

ずばり！町政を問う。

本年は33人程度の出生数だが、学校再編は考えないのか

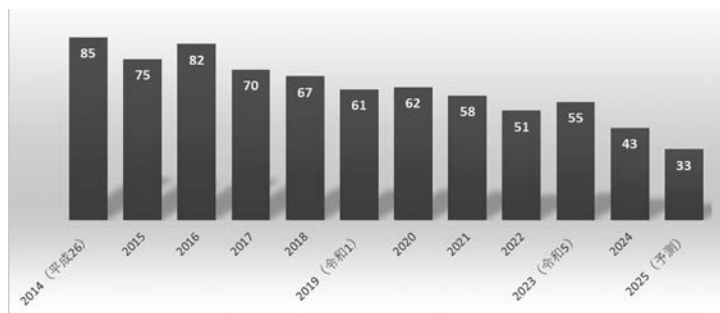
町長 単なる数合わせで町づくりはできない



西村 龍平 議員



新温泉町の全体出生数



西村町政のこども教育
政策の方向性の確認

問 出生数を伸ばすという前向きな心意気は承知しているが、現状を受け入れた経営判断も必要である。全町で本年度も33人程度の出生数が判明している中で、浜坂地区のこども園、小学校の再編をせず現状のまま存続させるという思いに変わりは無いのか。その理由は、

地域の存続のためという理由か。

町長 減るとのマイナス思考ばかり言うが、園も学校も数だけで論議はできない。地域の学校の今日までの歴史、背景、地域の思いがあり、単なる数合わせで町づくりはできない。

問 出生数をプラスに転じるという思いは同感だが、減っていく現状は避けられず、それを鑑みた経営判断が必要だと言っているがどうか。

教育長 学校は地域コミュニティの核であり、学校園がなくなると衰退につながるのも一理ある。ただ我々が最も大事にすべきなのは、児童生徒の教育条件が果たしてこれでもいいのかということ。第一に考えなければならず、今年度に学校のあり方検討委員会を立ち上げ、その視点で議論を深め、住民アンケート等の実施も図って判断していきたい。



中井 次郎 議員



大切な自然が壊される 秋田県では死亡事故も発生

町長 これまで取ってきた方針（反対）で対応する



風力発電建設が予定されている松尾地区

業者から風力発電説明会をしたいと

問 日本風力エネルギー（株）が、区長に風力発電事業の説明会をしたいと訪問があった。風車の数を減らし、その代わりに大型化する。高さが150メートルから190メートルになる。風車ができれば、イヌワシなどの鳥が風車の羽根にぶつかり死ぬ。超低周波の

問題もある。スクラップになった風車を、会社は片付けをしない。秋田県で羽根の下敷きになって、死亡した事故も出ている。町行政はどのように対応するのか。

町長 国は原発に変わる自然エネルギーギアとして、風力発電などを推奨しているが、町では平成31年8月、今岡金屋・熊谷・伊角・数久谷の4集落の区長が連名で反対の要望書を提出され、いのちをつむぐ会からも反対署名が出ている。町議会も反対の意向を示している。先日区長らが集まったが、その場でも全員が反対だ。町としてもこれまで取ってきた方針（反対）で対応する。

地域運営組織の全域結成と支援策を早期に

町長 改めて支援のあり方等、検討したい



中村 茂 議員



会員制度の廃止で利用が大きく減少、子ども向けスイミングスクールも廃止となった町民プール。10億円の改築費用の効果は利用増が第一

問 「新しい地域コミュニティづくりの基本方針」は町の重要施策。令和6年を目標に地域運営組織の全域結成を進めたが完了できず、支援制度の具体化も進んでいないがどうか。

町長 本年度、県の「市町地域伴走支援体制整備事業」を利用し、未設置地域の組織化を進める。改めて、支援のあり方等、検討したい。

両区で話し合いの場

問 従来から意見している熊谷地域の早期結成の進展はあるのか。

企画課長 再度、熊谷、伊角両区の話し合いの機会をつくる方向で、地区公民館事業も含めて対応していきたい。

問 奥八田地域づくり協議会の「買物・通院支援サービス」はライドライシアである。何度が支援すべきと提案したが形がみえない。支援はできないのか。

町長 奥八田地区の送迎の仕組み、本当に先進的な取組であり、支援は宿題だが前向きに考えたい。

年間券復活案は打診中

問 昨年11月「リフレッシュパークゆむら」年間券復活を求める会666名連署の要望は、1年経過するがどのように対応するのか。

町長 条例の枠内で指定管理者が検討している。

合併浄化槽の更新、補助すべきでは

町長 新たな国の補助制度の対象になるか調査中だ



森田 善幸 議員



令和7年3月31日付の環境省の通達に、浄化槽更新事業が新たに交付対象に加わった

要綱の一部改正があり、浄化槽の更新事業が補助メニューに加わった。本町の個別合併浄化槽を利用している方々が国の補助制度の対象となるか、現在、調査中である。

巨大風力発電計画

問 本町では、下水道の設置が困難で、個別の合併浄化槽を設置された地区がある。設置後20年以上経過し、浄化槽の更新が必要となってきた。下水道事業では、利用料の他に町の一般会計からの繰り入れで、修繕や設備の更新が行われるが、個別浄化槽の修繕や更新は個人負担である。公平性の面からも、河川の水質保全の面からも国の制度を活用して補助すべきではないか。

町長 今年度、国の浄化槽設置整備事業実施

町長 これまでの計画から、エリアの変更と、風車の数を減らし、代わりに風車を大型化するの、対象地域に説明会を行いたいという旨であった。町として、議会の反対の意向、集落からの反対の要望等をふまえ、反対であるに対応した。

鳥獣処理施設の指定管理者制度の導入の経緯は

町長 売上げの収入アップ、経営改善を図る



重本 静男 議員



浜坂地域にストックポイントが設置され有効活用期待する

問 今年度から、鳥獣処理施設（塩山）の運営について指定管理者制度を導入した経緯を問う。

町長 搬入頭数の増加に伴い、施設の維持、運営費の増大など、課題を解消するためである。増収、経営改善のために見直した。

問 浜坂地域のストックポイントの利用状況は。

農林水産課長 今年度より指杭に整備し、稼働している。4月の実績は、シカ75頭の搬入がある。

行財政改革の推進

問 公共施設除去事業について、解体施設が示されている。旧温泉高校の除去に伴うスケジュールを問う。

町長 解体計画を進めるため、民間事業者等からの意見や提案を對話形式で受ける「サウディング型市場調査」を実施し、今後の方向性を打ち出す。

問 リサイクルセンター閉鎖に伴うスケジュールは。

町長 今年度、住民や各種団体、収集委託業者等から意見聴取、課題解決に向けて協議を行い、新しい収集方法の方向性を出す。令和8年度に新しい収集方法を住民へ周知、説明会を行い、令和9年度からクリーンパーク北但への搬入を開始したい。

子ども・子育て支援策

問 浜坂地域に大型遊具の設置の考えは。

町長 要望は聞いている。今後検討する。

沿岸漁業の振興、磯焼け対策すべき

町長 漁協と相談連携して県、国に要望する



宮本 泰男 議員



沿岸漁業の振興

問 近年浅海の藻場が荒廃して磯焼け現象が酷く、ワカメ等海藻類、サザエ、アワビ等貝類の成長を妨げている。またタイ、カサゴ類も減少している。藻場の再生、造成として人工リーフ等の設置工事をすべきである。

町長 漁協と相談連携して県、国に要望する。

浜坂認定こども園

問 危険建物、男子職員トイレ不備、育児室不備、職員室狭小等々いまだに未整備である。早期に改築すべく所見を問う。

町長 同園は50年経過し老朽化危険建物とし



磯焼けで年々減少するアワビ・サザエ

て早期改修する計画であったが、議会の承認が得られず、今日にいたっている。この地域は重要な利活用に素晴らしいエリアになる。議員の理解をいただきたい。早期改修に着手したい。

フジッコ浜坂工場閉鎖

問 2027年閉鎖のニュースに町内は衝撃を受けている。従業員、家族等関係者の各種不安解消対策として、役場内に相談所、企業誘致特別対策室の設置をしてはどうか。

町長 相談コーナーは検討したい。事業引継ぎ業者について一部情報も共有している。

下水道料金の差を放置される町民の痛みがわからないのか

町長 統一に向けて事務事業を進めている



米田 雅代 議員



行政全般で責任をとれるのは町長と議員だ。教育長が責任をとるなどありえない

問 町の未来の姿をどうイメージするのか。
町長 高規格道路の完成を次のまちづくりの飛躍の第一歩としたい。
問 その視点に住民の姿はあるのか。町民の福祉のレベル、生活の質はどうなるのか。
町長 観光を軸とした楽しいまちづくり、一人ひとりの収入も増やす。高齢化率43%超え、年金生活者も増えている。そこはきっちり支える。

大庭認定こども園

問 下水道使用料格差を令和10年まで放置する。それで高齢者の生活を守るといえるのか。
町長 根拠のある新たな上下水道使用料や制度を提案するつもりだ。

問 耐震補強ではなく、大規模改修なのか。
町長 将来に備えて中途半端な建物にならない、仮に少子化になっても利活用できるようにいいかげんな改修は駄目だ。

教育長 園児の安全安心を担保する。耐震補強だけでも概算で2億数千万円のお金がい

る。それならもったいなく、ちゃんとした園を園児や保護者に提供すべき。

問 建設の最終的な責任者は誰か。

町長 連携を取りながらやっていく。

教育長 私だ。町長から責任の明示があった。

フジッコ浜坂工場閉鎖に対策室の設置を

町長 相談窓口の設置を検討する



澤田 俊之 議員



非常に残念な閉鎖

こども園

問 こども園の将来像は何か。

町長 浜坂認定こども園を現在地周辺で改築すること。

問 統合し、今の職員を一か所に集め、子どもを預けやすく、職員が働きやすい園にし、子育ての中核にするよう幾度となく提案している。前向きな発想ではないのか。

町長 コスト、コスト、だけではなく大局的な話が必要であり、一面性だけでは難しい。

公平性

問 行政の一番大事なことは、町民に信頼されること。これが町の一体感につながる。そのためには、公平性のある行政が必要だと考えるか。

町長 公平のあり方は、それぞれによって違う。これまでの経過の中で出来上がってくるものである。

問 フジッコ浜坂工場は、124名が勤務する町内で最大の製造工場である。閉鎖は、経済面だけでなく、人口減少、財政問題、こども園の関係にも影響がある。緊張感を持ち、広く長いスパンで対応するため、対策室が必要ではないか。

町長 商工会にアンケート調査、県の支援町独自の支援策はないかを検討している。

ふるさと教育は、今の規模だからこそ喜ばれている

教育長 行政が一方的に統廃合を行うのは、避けるべきである



浜田 直子 議員



ふるさと教育

問 今のふるさと教育は、現在の規模でこそ子ども、保護者、地域に喜ばれている、統廃合でその良さが減るのではないか。

教育長 大切に考えている。行政が統廃合を一方的に行うべきではない。町民、あり方検討委員会を注視し参考にする。



地域の貴重な天然記念物ミツガシワを体験し守る事で地域ならではのふるさと教育を！

漏水対応は

問 空き家等老朽化による漏水対策はあるか。

町長 長期不在時には、上下水道課へ使用異動届（休止届）を出すことが重要である。

問 高額な水道料金は、他町では、多く減免される。当町でもすべきではないか。

町長 発見が困難な場所等の漏水は減免制度がある。

認定こども園

問 整備の現状と課題はどうか。

町長 大庭地域周辺は、これから人口が増える可能性がある。浜坂認定こども園は、周囲の景観が素晴らしい。どちらの園舎も早期整備を進める。

問 納得でき喜ばれるものを整備すべきではないか。

教育長 今の計画を早期に進めたい。

職員の働き甲斐

問 職員の誠心誠意の努力あつての行政だ。その気持ちを維持、アツプさせる対策は何か。

町長 職員の能力を高めるため希望に沿った環境を作る。

町長が目指す具体的な将来像とは

町長 地域の人々に喜んでいただける、そういう方向性



岡坂 遼太 議員



ビジョンなき町政運営

問 総合計画が見据えるべき未来は20年30年先だ。どのように策定するか。

町長 目指すべき将来像を起点に考えるビジョン実現型のバックキャスト思考を加味して計画策定する。

問 町長が目指す未来像はどのようなものか。

町長 自然環境、温泉、海や山の素晴らしい生活を満喫できる生活環境を構築したい。

問 とても抽象的なので、もっと具体的に語っていただきたい。

目標年次	人口の将来展望
短期的目標 平成32(2020)年	人口13,600人を目指します。 合計特殊出生率1.82を目指します。 転入・転出差の縮小を図ります。
中期的目標 平成52(2040)年	人口9,900人を目指します。 合計特殊出生率2.07を目指します。 転入・転出差の縮小を図ります。
長期的目標 平成72(2060)年	人口7,300人を目指します。 合計特殊出生率2.07を維持します。 転入・転出数の均衡（移動ゼロ）を維持します。 （転入・転出数の均衡（移動ゼロ）は、平成62(2050)年での均衡を目指します。）

総合計画策定の基本となる本町人口の将来展望
(出典：新温泉町人口ビジョン（平成27年10月策定）)

町長 地域の人々に喜んでいただける、そういう方向性だ。

計画と言動の不一致

問 既存計画に書かれている検討事項について、町長は否定的な態度を取っているがどう考えているか。

町長 行政が文字で書いたからといって、そのとおりに検討すべきものではない。

問 人口増加を町長が口頭で主張できても、どの計画にも人口増加の記載が無い。職員と足並みが揃っていないのではないか。

町長 連携を取りながら計画づくりを進める。

問 ビジョンなき町政運営は町民の希望を失わせ、整合性の無さが信頼を失わせるのではないか。

町長 計画と結果の整合性、これは極めて重要である。

令和7年度 議会報告会レポート

令和7年度の議会報告会を開催しました。この報告会は、町民の皆様と議会が直接対話する貴重な機会であり、活発な意見交換が行われました。今年は、5月12日(月)に町民センター、5月13日(火)に多目的集会施設で開催しました。第1部では今年度当初予算や主な審議内容についてご報告し、第2部では3グループに分かれて議員と参加者の意見交換を行いました。今回のレポートでは、その様子を詳しくお伝えします。

第1部 3月定例会・各常任委員会活動報告

第1部では、議会の概要や3月定例会に提案された新年度予算や事業内容を中心に広報調査特別委員会が報告し、各常任委員会(総務産建・民生教育)が、それぞれの所管事項に関する報告を行いました。

今年は第1部でも質疑応答の時間を設け、町民の皆様からは「中高一貫校の経過をもっと詳しく知りたい。」「議会の機能強化を行うべきだ。」「町は、町が言い出した施策を継続していかない気がする。」「などの質問や意見が寄せられ、町政への関心の高さがうかがえました。

参加者数は全体で21名、前年と比べ4名減となりました。

議会報告会の動画(第2部は含みません)は、町のホームページ又は下記QRコードからご覧ください。



第2部 グループに分かれて意見交換

第2部では、参加者及び議員を3つのグループに分け、議員と町民が少人数で意見を交わす座談会形式の意見交換会を実施しました。各班で多岐にわたるテーマが議論され、町民の皆様から率直なご意見やご提案をいただきました。一部ご意見を掲載いたします。

地域経済と雇用

●フジッコが撤退するという衝撃的なニュースが出てきたが、どう感じているか。

●フジッコ問題について、再交渉の進捗や雇用の場の確保、人口減少など多くの問題があるが、報告がない。スピード感もなく、対応にメリハリが感じられない。

認定こども園整備

●町と議会の折り合いがつかない案件は、解決手段として住民投票の制度を考えてもよいのではないか。

●各こども園の保護者の声をきちんと聞いているのか。



温泉会場の様子(第1部)

●認定こども園の整備において、教育長に権限を与えず「推進できない責任は教育長にある」とする町長の考え方は不適切である。

●こども園が選挙の道具のように扱われている。

●8年間何の進展もない。私のこどもは中学生と小学生になった。議会は何をしてきたのか。どう考えているのか。

●こどもの数は8年前と比べて大幅に減っている。2園必要なのか。統合すべきではないか。

小学校と中高連携

●昨年度の出生数が39名であることに驚いた。町全体

に6つの小学校が本当に必要なのか疑問が湧いている。

●少人数学級を一方的に悪いと決めつけるのはいかがなものか。

●子どもの立場、保護者の意見、将来展望などは考えられているのか。

●進められている中高連携の内容が町民に理解されていない。しっかり伝えるべき。

福祉と医療

●高齢の叔母が一人暮らしをしていて、福祉タクシーで助かっているが、配布分はすぐに使い切ってしまう。助成を増やすことはできないか。

●浜坂病院を今後どのように守っていくのか。計画を立てるべきではないか。

公共施設とインフラ

●下水道料金制度の統一に向け、議員一人ひとりも同調の意思を示してほしい。

●下水道事業は町の一般会計から繰り入れられており、税金が投入されている。一方で、下水道がない地域

では個別浄化槽の維持や修繕、更新を自己負担しており、不公平ではないか。

●浜坂地域と温泉地域で下水道料金制度が異なる件について、町広報誌に掲載された町長の誤った文面を議会が指摘すべきである。

●町有公共施設の使用料について、ボランティア活動などへの減免制度を拡充してほしい。特に、子どもたちが使用するグラウンドには補助を出してほしい。

リフレッシュ館

●リフレッシュ館のプール改築が10億円もかかっている。新築に近い規模であり、もっと事前に協議すべきではなかったのか。

●プール改築について議会は25mプールにするよう付帯決議を出したとのことだが、行政の対応はどうなっているか。

●リフレッシュ館の年間券復活に関する署名が提出されたが、今後どうなるのか。

●指定管理のあり方についてももっと勉強してほしい。

町の将来像と合併20周年

●合併後20年が経過したにもかかわらず、観光協会が浜坂と温泉で分かれており、対応も異なっている。この体制は問題ではないか。

●高齢者大学「宇都野学園」と「とちのみ学園」が別々に存在するのは不自然である。

●平成の合併では美方郡4町と香住町の5町合併が協議されたが成立しなかった。しかし、香美町と新温泉町は気候風土や抱える課題もほぼ同じであり、今後は合併した方が良いのではないか。

●町長の「公約がすべてである」という発言は、非常に問題があるのではないか。

●町は柔軟性を持って、20年先までの計画を作るべきではないか。

●人口減少への対策で、町長から「ベットタウン化」という話があるが、本当に人口増に寄与できるのか。

行政運営と人材育成

●行政の人事評価制度は機能しているのか。制度が形だけになっていないか。議会にはどう伝わっているのか。

●若い職員を育てようとしているのか。

●行政は見積り作成時の基本的データの収集が不足しているのではないか。

●課長は、担当から一気に管理職になっており、モチベーションが上がりづらい仕組みなので改善すべきだ。

●人事は定数条例や配置規則に基づいているか、議会がチェックすべきではないか。

●職員の指導や教育が行き届いていない。一部の職員のせいで現場全体の士気が



浜坂会場の様子（第2部）

下がっている。行政はもっとしっかり指導すべきではないか。

●職員の人材育成ができていない。「私は素人ですが」が常態化している。数人で人事異動があり、職員を育てる意識が低いと感じる。

JR利用促進

●JRについては、町民以外にも補助を出して利用者を増やすことはできないか。

●若者の移住・定住について、鳥取や豊岡の学生に新温泉町を知ってもらう機会を、学生やJRを巻き込んで企画してはどうか。

●JRに必ず乗らないといけないようなイベントを開催できないか。

その他

●自動車刈り機は高額なので補助を増やすべきではないか。

●「すこやかに」の駐車場予算が計上されたと聞いたが、無断駐車等への対応が先ではないか。他の町有

駐車場も含め、対策を講じるべき。

●当局と議会が対立しているように見える。実際に話し合いはしているのか。

●スマートリンクの取り入れにオリジナリティがない。将来展望や良いことの積極的な取り入れが必要ではないか。

●交通体系など、町民の利便性を考えた対策が必要ではないか。

今回の議会報告会では、町民の皆様から幅広い分野にわたる貴重なご意見やご提案をいただきました。議会としましては、これらのご意見を真摯に受け止め、今後の議会活動に活かしていく所存です。引き続き、町民の皆様の声を大切に、開かれた議会運営に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今回の報告会にご参加いただけなかった町民の皆様も、ぜひ次回の議会報告会にご参加いただき、直接ご意見をお聞かせください。



挿し絵 木本博明氏

認知予防と老友づくり…カラオケで

宇都野学園 歌謡クラブ

代表 西谷 幸弘

活動内容は…月2回の木曜日に多目的集会施設の2階ホールで歌唱練習をおこなっています。

年間を通して、宇都野学園学園祭、すこ

やかクラブ、新温泉町社協福祉大会、新温泉町文化祭、文化協会事業での舞台発表に出演も行っています。その発表に向けた練習を和気あいあいとしています。

きっかけ・いつから…カラオケ好きの宇都野学園生が、話しているうちに1984年に自主活動クラブとして立ち上げたカラオケクラブです。1995年に「歌謡クラブ」に名称変更して現在に至り続けています。

話題作りや交流のきっかけとしても役立っています。

メンバーは…宇都野学園生の女性10名・男性8名で活動中です。



宇都野学園学園祭の発表風景

会のセールスポイントは…自身の認知予防と友達づくりになればと、楽しく過ごせる時間を作っています。この仲間の輪が広がって、ワイワイと笑顔も増えることを願っています。

情報交換のできる場所にもなっていて、暮らしの情報も盛りだくさんです。

今後の抱負は…会費に余裕が生まれたら(？)水瀬団氏を招聘して、多目的ホールで、歌謡クラブコンサートの開催を夢見ています。

カラオケを歌い続け仲間がどんどん増えるとありがたいです。

皆さんにお願したいこと…何にでも挑戦しましょう。いくつかからでも大丈夫です。嫌い

も続ければ好きになります。

宇都野学園へ、どうぞお越し下さい。

編集後記

今定例会から全ての資料がデジタル化されました。それにより生成AIや各種ウェブサービスと連携しやすくなったのがとても嬉しいです。配布資料のうち、ほとんどの数値データは表で提出されるのですが、AIに頼めばすぐにグラフ化でき、分析しやすくなります。数値分析も文章分析もAIはできますので、AIの客観的な意見も取り入れながら市政の最適化を図ってまいります。

(岡坂遼太)

次回定例会は
9月です。
傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会	
委員長	岡坂遼太
副委員長	森田善幸
委員	西村龍平
	澤田俊之
	米田雅代
	浜田直子

発行者 議長 池田宜広